

虹見の滝

虹見(Rainbow View)の滝は、龍王峡自然研究路の見どころのひとつです。この滝は、自然研究路と五龍王神社を結ぶ参道の途中、複数の異なる角度から見るができます。滝の名前は、特に晴れた日の朝、滝の水しぶきによく鮮やかな虹が現れることに由来しています。この力強い滝の落差は 20m 下方の川へとなだれ落ちます。虹見の滝は、大きな溪谷の上に形成される浅い溪谷である「懸谷（hanging valley）」に分類されます。滝頂上部の岩石は、角閃輝石閃緑ひん岩（hornblende）です；角閃輝石閃緑ひん岩は、複数の鉱物が複雑に合わさった鉱石で、下方の崖の下部を形成する流紋岩よりもはるかに硬く侵食速度も遅いため、懸谷ができるのです。